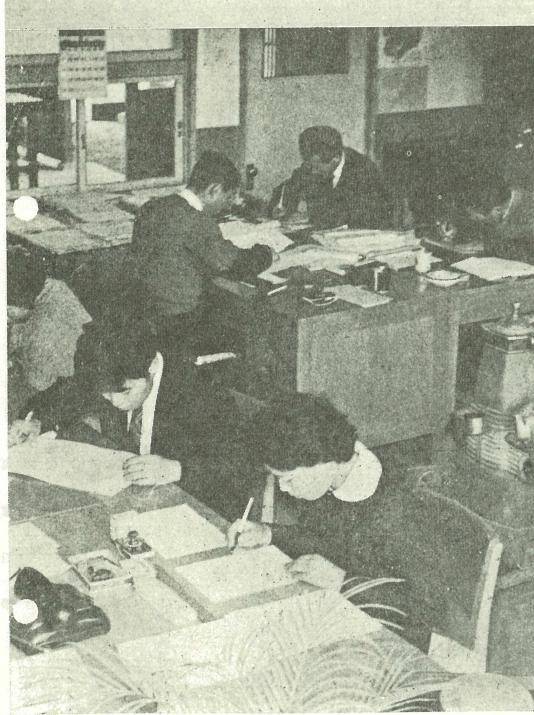




人口統計より	
① 人 口	25,222人
	12,267人
	12,955人
	63人
出死婚	29人
② 戸 数	39件
	4,289戸
(2月1日現在)	

No. 14

毎月 24日発行
発行所
葛木県玉生町役場
TEL 34-109-209
白鶴出版社
新生社



● 4月実施で忙しい国保準備室



壬生史帖

壬生の地名

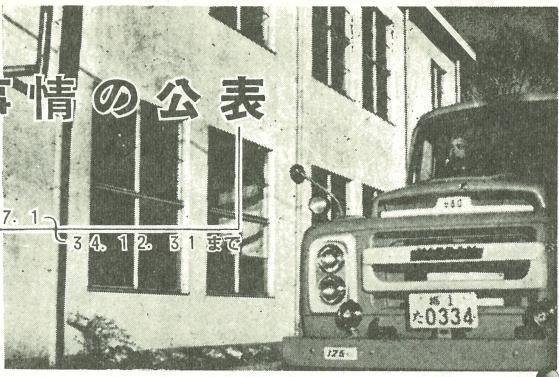
△崇神天皇四八年皇子豐城入彦命が東國に下落された。景行天皇、五年武内宿禰の東北巡察、四十一年日本武尊の東征があり先住民族鎮撫は強力に実施された。景行天皇は豊城入彦命の御孫彦狄君王を毛野に遣わし王が途中で薨せられると御諸御王を、次いで流田別王、加賀別王が相次いで下野の都督任せられた。

その高貴な方々の御子を扶養する扶育係の居住地が壬生で、蠶城入彦の次代第十二代垂仁天皇の後裔壬生胤業がこの地に築城したのを縁起からぬものもある。△百人一首で有名な連歌師則ち宇都宮守氏家五郎、鹿沼右衛門尉、猪倉島傳中守を七郎と称した。壬生上総介、上三川郷多功石見守、祖母井儀田糸岡の中に朝業と、一人あり壬生三郎と称した。これ等の人などが「壬生」とは遠いものではあるが若千生地に帯がその所領である。たゞそれは壬生筑紫守築城以前から壬生という地名があったと

— いうことが出来よう。

(株)

財政事情の公表



●カツトは役場序舎とダンプトラック

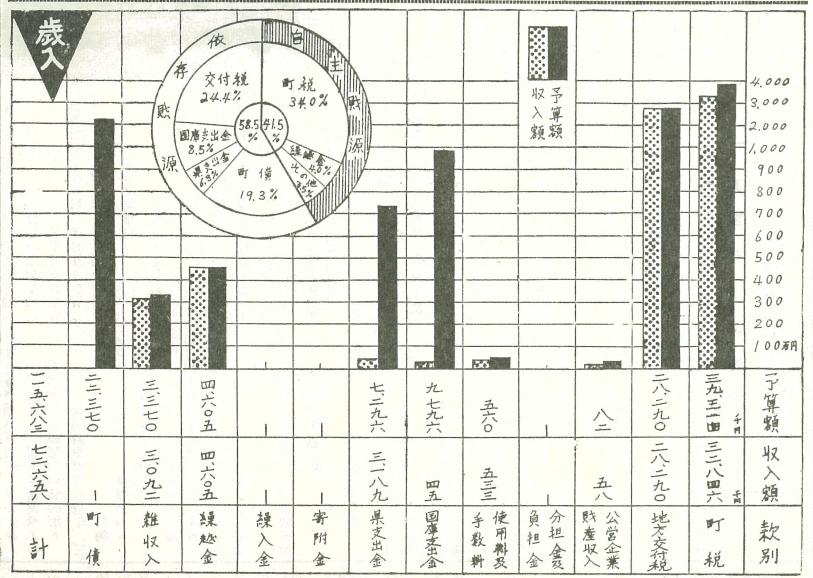
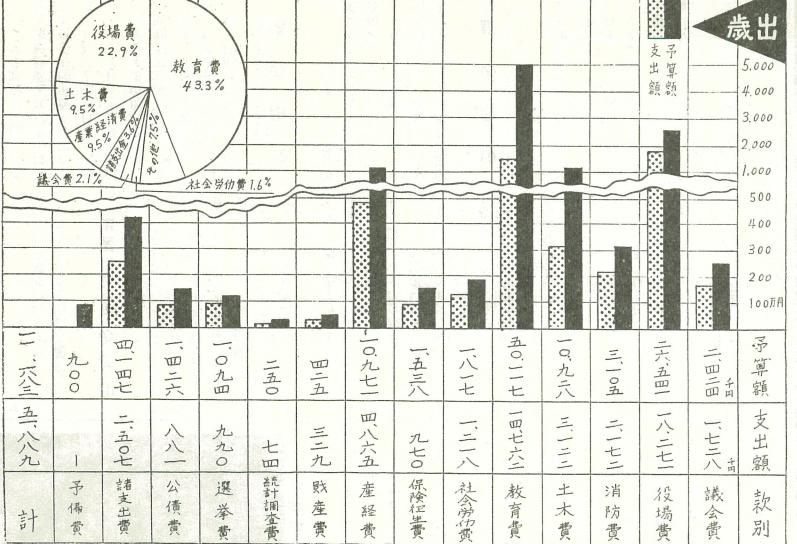
今回も昭和三十四年七月一日から十二月三十一日までの六ヶ月間の様子をお知らせいたします。
昭和三十四年度(34年4月1日-35年3月31日)の一般会計の当初予算額は、一億三〇二万九、五四三円でその後、十一月と十二月に三回追加更正予算額をもつて、二・八%になります。年同期の八一億二、五六八万三、二〇九円となりました。

町民一人当たりにしてみると、四・五八二円の支出額になります。その原因は、歳入を見てまいります。では歳出、歳入を見てまいります。

年回は、歳出、歳入を見てまいります。では歳出、歳入を見てまいります。

年回は、歳出、歳入を見てまいります。では歳出、歳入を見てまいります。

年回は、歳出、歳入を見てまいります。



本町の台所やりくり

効率的に運営し、豊かな町造りと町民福祉の実現を計るのが町長の基本方針なので、この線に沿って進んでまいります。

皆さんのご批判とご理解をお願いいたします。

エビ沼用水害復旧工事

東原場防工事起工式

去年の八月十四日、第七号会風で決議された黒川筋エビ沼用水路附近は

○ 地元耕種組員と喜びを分ち合

式をあげました。

災害復旧工事(約四十万円)防災

的繕防工事(約七百三十万円)の工事が始まり、地元では二月十七日、小田選町長、斎藤木工

木山選工長ほか係官吏をもかえて起工式を行いました。

昨年十一月号既報題このほど農林

省管轄の工事(約四十万円)防災

的繕防工事(約七百三十万円)の工事が始まり、地元では二月十七日、小田選町長、斎藤木工

木山選工長ほか係官吏をもかえて起工式を行いました。



